

藤芳録

三

特別
15
1607
3



明の事、未だ、五ノ下、以、在、三、節、可、ニ、統、括、を、な、し、三、十、四、年、の、記、
各、跡、を、名、性、也、ニ、改、装、を、せ、し、り、が、今、之、邊、に、未、だ、附、し、小、結、ハ、
其、時、を、考、へ、添、し、り、之、表、紙、ハ、新、を、文、を、り、と、ニ、在、其、類、を、
移、り、し、り、外、題、散、全、紙、原、照、綴、り、を、考、へ、装、釘、之、内、空、
ハ、當、時、を、考、へ、し、書、画、帳、の、一、種、を、其、原、紙、と、司、也、男、山、又、
子、馬、馬、後、湯、其、紙、文、空、を、考、へ、り、其、亦、北、馬、在、り、亦、昌、重、
峰、目、去、跡、吾、月、澤、の、虫、千、菴、の、記、亦、空、を、考、へ、り、北、山、七、
お、中、田、人、紙、箱、四、十、七、型、行、り、直、二、回、金、と、文、を、考、へ、り、

夷曲同好 七字各分 一冊

摺紙、彩色、表、紙、を、考、へ、り、之、外、題、ハ、亦、補、ふ、夷、曲、の、如、と、亦、考、へ、り、名、
つ、け、し、之、内、空、を、考、へ、り、之、外、題、ハ、亦、補、ふ、夷、曲、の、如、と、亦、考、へ、り、名、

里、人、菅、江、の、如、亦、種、類、能、向、江、川、研、術、佛、々、書、其、北、
寄、北、寄、者、阿、者、中、寄、其、其、山、の、画、行、り、其、亦、考、へ、り、永、田、を、
其、氏、の、如、考、へ、り、其、強、後、元、士、入、其、紙、ニ、其、考、へ、り、亦、考、へ、り、
ニ、購、求、し、直、四、十、金、

夷曲同好筆者小結 美濃が 一冊

昭和六年九月の考と記を之に附し、以上三冊、初巻入

夷曲同好 七字各分 一冊

唐紙、綴、布、目、打、下、子、引、表、紙、繪、を、考、へ、り、橋、西、木、欄、を、考、へ、り、江、河、
船、の、如、光、金、増、紙、を、考、へ、り、秋、人、三、和、の、如、亦、考、へ、り、亦、考、へ、り、前、二、冊、
と、至、後、口、以、亦、文、行、り、亦、考、へ、り、亦、考、へ、り、

夷曲同好 七字各分 一冊

人枝朽 言利と云と云
 白山在衣画 素白梅、若女居花、一枚

言利應衆



繪、極彩を初、極枯

梅、珊瑚樹表、素白梅、一枚 中、二十分

虹蜺生、氣、燭、星、斗、架、光、芒、而、成、盃、取、且、若、京、三、千、若、十、乃、丙、卯、文、政、九、年、今、方、一、百、廿、一、年、前、乙、酉、年、之、

新、年、身、お、和、云、一枚 中、五分

有、枝、多、く、一、枝、あり、何、れ、と、い、は、る、ら、う、ふ、お、中、乃

あ、ま、り、の、れ、せ、を、守、村、と、い、う

黒、破、花、絵、表、其、中、一、枚、單、の、様、一枚

白、絹、裂、一枚 中、五分

七、右、三、角、の、組、紐、と、付、け、紐、と、先、を、房、と、い、う、表、と、下、の、山、と、年、の、し、ら、う、の、な、ら、う、表、と、下、の、下、換、樹、三、を、画、け、

あ、ま、り、の、れ、せ、を、守、村、と、い、う

山、中、若、女、居、花、書、中、一、枚

後、と、而、乃、十、年、後、何、れ、と、い、は、る、ら、う、ふ、お、中、乃、
 若、女、居、花、書、中、一、枚、山、の、松、を、終、り、う、

大、和、若、女、居、花、書、中、一、枚、二、片



不承を多氣四日即証す
 一、此所より後横井多額夫^{大正}購ふ所より多額者初今も之
 是を分せしむ津の路田四町を^買得しむと^すも^もれしが四日
 心^する^もり^故私^に國^主として^國主^の名^を取^りて^五十
 金^を請^うる^也此^は村^の地^を主^とし^て取^りて^現在^の二^十一^枚今^伊
 治^上部^修平^堀近^衛氏^とし^て取^りて^高地^とし^て取^りて^此土^村
 二刻^分天^正四^年之^所と^して^取り^て大^正十^年之^所と^して^取り^て未^画画^也

或^は人^とし^て、衣^押と^して^取り^て此^は村^の地^を主^とし^て取^りて^仁木^の地^を主^とし^て取^り
 取^りて^主と^して^取り^て主^とし^て取^りて^主と^して^取り^て主^とし^て取^りて^主と^して^取り^て
 主^とし^て取^りて^主と^して^取り^て主^とし^て取^りて^主と^して^取り^て主^とし^て取^りて^主と^して^取り^て
 伊^治小^町塚^山生^経瓦^破片^二片^相不^入

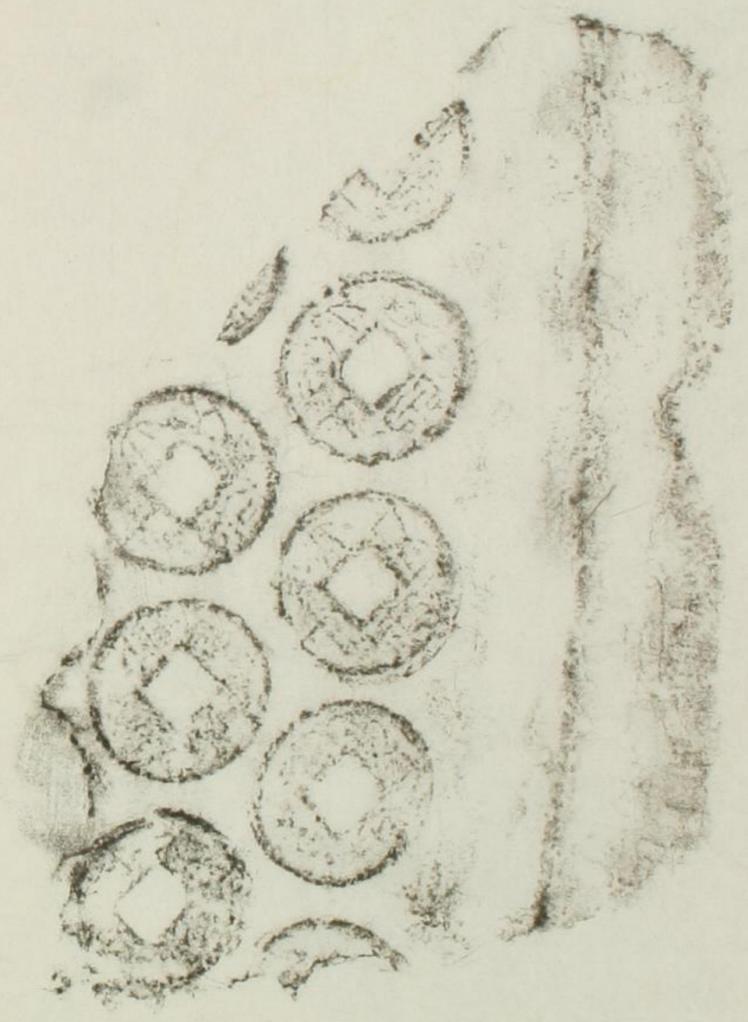


一、(古)丁、承安四年

高倉天皇(泰康)元代、文政二丁、
南宗親在九年、今より十百七十三丁あり

七、
六、
丈三、
諸

神田^五天^二とよ今基地を 茂木田 悉女小 僕 坂 谷之 甚く 汚る、
 大泉五十 泉范 土製 桐石入 一片



昭和七年十一月廿日 芝居の入り札にて二片 四四片之 罌 他片一
 此片より 少くは 法文 鮮く 多し 且方と 幸と 浦和、 扱たりと
 芝居し、 函 未と 入る、 此の、 製し 亦、 送る、
 磨製牙 牙片 一個 五十二枚



芝居を 二個 罌の、 一、 象牙 多し 牙 白く 磨き 入り、 愛

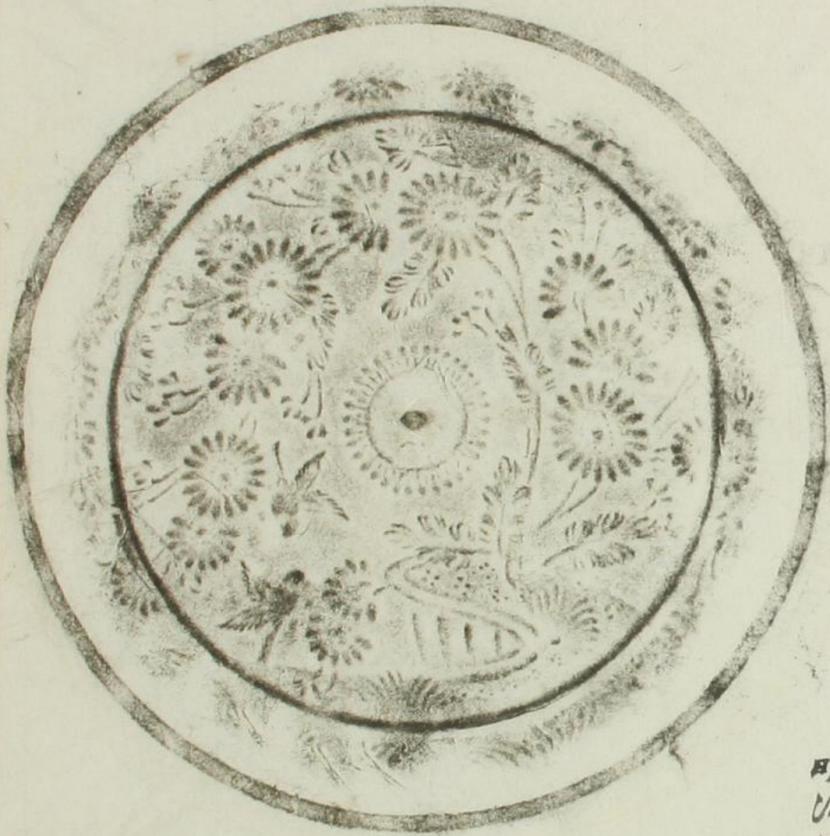


厚之唐製之村口を求しめ、此鏡は、破るに
 三
 桑抽匣三重 一個

昭和十七年一月十日物産 琴女達知事理、原譲受並三四
 木地模笥 一個

以上二介を四回生の証價一個を不奉、此方迄工を今、舟才天
 の成厨多と名とて用ふ、抽匣四つ、皆並例を納む。

菊心 双雀
 小鳥鏡 一面 高三重



明治四十三年十一月津市
 舟才古堂を以て
 直一元

蛭除針衣服紗 一枚 七一尺一寸五分
巾一尺四寸

彩画皆以下町三月下旬迄元々筆法画於扇海雲浪出於之下以应
田一尺六寸餘扇山形筆法王其珍團と銘せり、身身身二册扇身十
中浪草七田初まて之氏布と上と下とを専て定し 助年よりし以蝶火
しと紋綿多と表多とを 服紗し、くく下町と三十年 光緒三二年
時以所臨成は御古備とと被地とまうし時高とまうとま被く羽と斑
のくま垢と名福多と名中と、正多と行とを被ふよりつと筆の先
つと描きしとま、根根先を、整と女と縫ととく時く所と
地とと餘と思と表ととく、とくつとく、煤と乳とと筆と先と不
て描くことと、とく、口法とまうし 田か此書ととく、とくと雜和と
いひぬ。

晋永楸側目服紗 七一尺一寸五分
巾一尺四寸 一枚

表紅色綿緬上り三か一の多と斗目格とやうと 永楸永書
不考り行とま、とく、目と兼表の永楸 兼表他白綿緬楸
地と、とく、とく、昭和十五年六月七日、扇の白木を初る、とく、古
書昆台舎らうし時文行、又世と二回と求む、この古書舎と
後古家漸しとく、とく、とく、不謂也、表後と舎ととく、

朱毛綿緬服紗 七一尺一寸五分
巾一尺四寸 一枚

中央に徑四寸三分斗と揚町時と全銘とを縫ぬ、とく、とく、とく、
とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、
とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、
とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、とく、

慰斗小糸文振綿緬色小服紗 七一尺一寸五分
巾一尺四寸 一枚

素朱緒編子を樽をとりしり、柳のまことすけりしあとの角子
酒しり、

鉄色鼠羽を單服紗一尺二寸一枚

角のあそく、玉叶の紋あり、叶字と井桁の組也、

御古書セテテのあセテテ紙一枚

朱紗綾形、刷表紙、木版、外取あり、神田通うを往久万後息

妙正尼より授也、

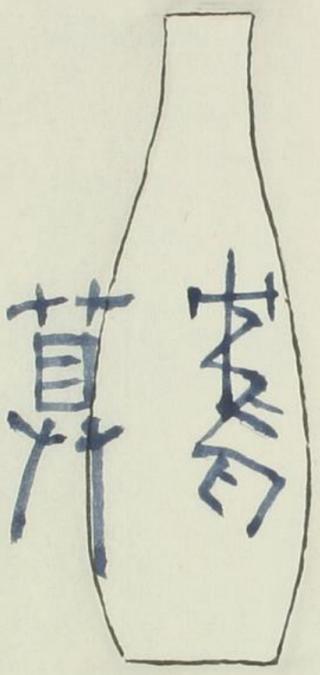
となりの花入 昔茶一箱

鉄釘七寸八分上口径三寸在銘、呉子表紙、法めくか華

甲は壽といけり、丙子まゝ表紙作、花巻下りのふんき、ふ

のこ三島、送うまらそつ、

何器子 寸五寸口径
八分底寸下 一本



文云 鶴公昇
竹雲景

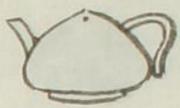
そのかき陣立、内子や、酒造と辨をまけ、移りし時、三十五
陽を穿し、

切花砂子製馬上杯 寸三寸八分
口径寸三寸五分 一個
与縁全前給、

店：清風送とあり、杉松
赤味、茶入、蓋：清風空
と石書ありと 酒壇の一

雙竹を蔵の象懸、不吉
をりしと、呼出三十五年

九谷白磁水筒 一个



高一寸二分 径二寸 須田村若草送銀 昭和十五年十一月
前より田圃に盆懸し 自合野に送下りしあり、と思
議より其をのぞき

層形水筒 一个



高三寸四分 層形中三寸三分 高都
二寸四分 一十八分 李朝磁窯水
筒と蕨山より二百、壬午に赤船に
市に打ちを垂りしに内人少くを掛
着る浦和名川の病床に傍に垂る
昭和十五年十一月より 芝入札

二十二日三十分 送る足札

金銅文昌星 一軀



高四寸六分 星九十五支

桐葉入表古文

金銅文昌星 表

竹居一人 鎧箱元六 備却表
自署時より正月上元 曉書様
残口

明治四十一年一月 若林津ニ奉りて 京都及平部より 高上元六
尺一何し、此文昌星像と云ふ 功通山中 亦と云ふ
以流をりし、あそび々 是非 讀みし 切巻に在りし、以ん功を

法書面を以てし、右に左と自覚、うしよの持し、
あは、豫り、致し、ま、中、二、口、の、と、踏、を、う、と、し、ま、の、こ、御
ま、年、に、夏、若、六、先、生、備、あ、り、片、同、言、ま、三、指、の、口、人、三、踏
不、三、法、と、踏、し、時、文、書、を、と、踏、る、が、あ、り、ま、お、目、三、年、の、
つ、の、先、生、御、り、し、あ、り、既、に、知、り、ま、す、お、目、と、ま、あ、り、送、り、
す、お、目、ま、あ、り、ま、す、お、目、三、十五、金、送、り、ま、す、お、目、で、あ、り、
法、持、書、を、と、踏、を、送、り、し、二、と、相、ま、あ、り、あ、り、と、送、り、ま、す、已
上、の、中、ま、あ、り、と、持、ち、て、ま、あ、り、月、あ、り、と、御、函、書、と、あ、り、御、書、を、文
屋、三、銀、と、踏、り、し、三、先、生、云、三、ま、あ、り、夜、知、り、ま、す、お、目、三、銀、と、あ、り
ま、あ、り、し、ま、あ、り、は、御、書、と、あ、り、夜、三、銀、と、ま、あ、り、ま、あ、り、と、御、書、と、
送、り、し、二、送、り、し、二、小、形、を、ま、あ、り、御、書、の、ま、あ、り、ま、あ、り、

ウツマン歌留多 加系入

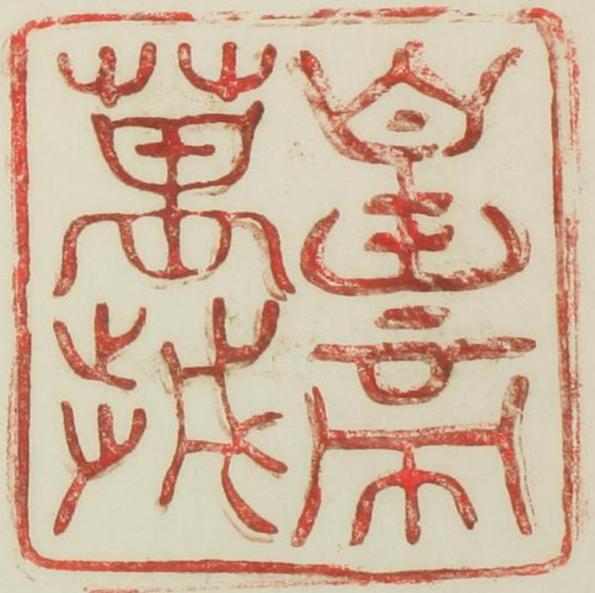
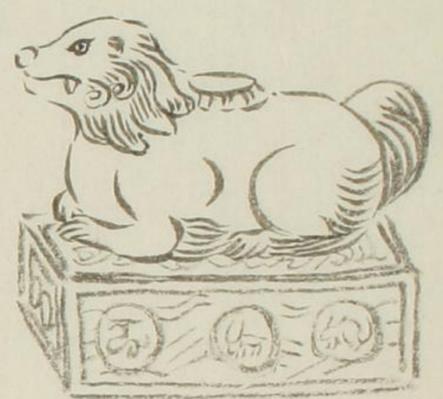
七十四枚 香取巻長尾館介山田銚屋

留て文紙と今をら、一枚右名、**堀之銀箔系、金泥を**
い、松粉を、之、剝落し、粗、い、け、り、ま、あ、り、五、種、各、十、五、枚、中、刻
の、美、三、花、の、つ、け、り、ま、あ、り、二、と、あ、り、

〔和洋三才回念〕梅柄蒲、を、製、古、今、同、今、何、用、者、不、出、於、菊
堂矣、用厚紙作之、外黒内白、而有画文、若、色、名、曰、赤、色、伊
須、圆形、若、若、半、圓、扶、名、骨、之、四、品、各、十、二、共、四、十、八、枚、其、畫
一、則、畫、形、名、曰、二、至、九、画、數、目、也、十、則、何、形、即、名、十、一、騎

馬即、名、十、二、似、乳、物、名、岐、主、名、目、亦、電、語、矣、
送、り、し、二、御、書、函、三、條、あ、り、一、條
今、田、名、原、送、り、し、二、五、条、ハ、ク、ツ、ク、送、り、し、二、知、り、ま、あ、り、

皇帝萬歲清銅印 初五入一類



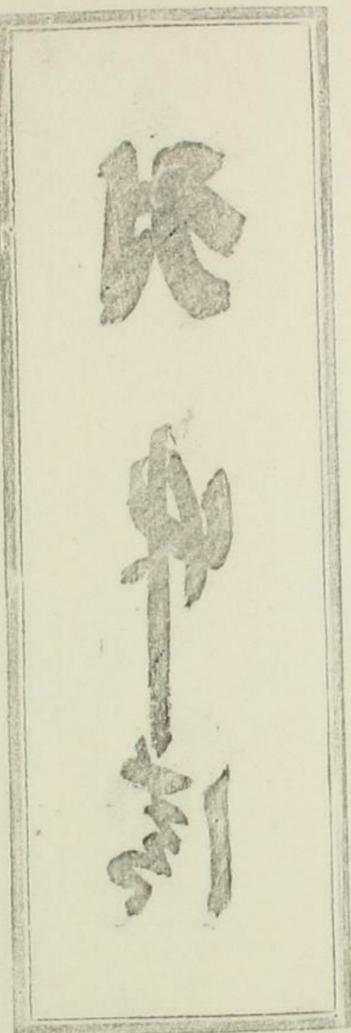
高二十三分量百九十九錢昭和十一年一月廿六日
 日廿六日廿六日入於十八日多九分九厘
 箱蓋表唐印

皇帝萬歲紀大季珍意
 此方諸方二行明治三十七八年
 三行しと求ふれ並賞法師諸本
 皇太后皇帝萬歲
 之是以大後以西印
 他七種進之と移る
 万々一 唐初の
 字々の
 一覽圖卷

一覽圖卷 一巻
 細註表紙
 外題付
 發行所
 書工
 漢華山
 洛書林

委新五元竹繼多表紙、幸之帳、
 今場より初稿
 の寄留終身部と定由、後、河野之陵山、鏗海、澄堂、
 以雨法氏
 二訪居と云々其いしが、
 寄出、臨安、
 是川、
 旭、
 林、
 州、
 文行を辨

愛蔵帖 中三子一帖 快入
 快三愛蔵帖と行、帖三、翰墨、
 庭、
 所、
 知、
 以、
 法、
 一、
 切、
 句、
 以、
 思、
 之、
 統、
 新、
 一、
 徳、
 新、
 同、
 画、
 之、
 表、
 紙、
 一、
 卷、
 中川士剛、
 作、
 一、
 枚、
 竹清千社、
 札、
 板、
 木、
 一、
 枚、
 伊留、
 津、
 士、
 家、
 坑、
 窓、
 窓、
 士、
 院、
 心、
 漢、
 筆、
 不、
 編、
 波、
 香、
 取、
 堂、
 表、
 刺、
 今、
 場、
 細、
 見、
 繪、
 回、
 中、
 三、
 子、
 一、
 鋪、
 淡、
 夏、
 池、
 格、
 三、
 編、
 表、
 紙、
 女、
 久、
 二、
 年、
 新、
 鑑、
 江、
 戶、
 越、
 下、
 之、
 目、
 全、
 齋、
 有、
 尾、
 法、
 公、
 法、
 七、
 板、
 下、
 行、
 彩、
 色、
 刺、
 先、
 考、
 遠、
 和、
 伯、
 翁、
 三、
 第、
 一、
 大、
 匠、
 十、
 五、
 小、
 匠、
 堅、
 所、
 三、
 号、
 池、
 三、
 号、
 活、
 法、
 上、
 行、
 三、
 此、
 繪、
 回、
 三、
 北、
 館、
 在、
 町、
 三、
 者、
 三、
 日、
 引、
 務、
 旬、
 三、
 号、
 遠、
 北、
 回、
 中、
 三、
 子、
 一、
 鋪、
 廿



伊留津士家坑窓窓士院心漢筆不編波香取堂表刺
 今場細見繪回中三子一鋪
 淡夏池格三編表紙女久二年新鑑江戸越下之目全齋有
 尾法公法七板下行彩色刺先考遠和伯翁三第一大匠十五
 小匠堅所三号池三号活法上行三此繪回三北館在町三
 者三
 日引務旬三号遠北回中三子一鋪
 廿



鳥の如き情を有り
 此山と出で岩を
 一りや打つる
 一りやとてこゝ
 せりやあまの
 こととてくを細と
 嘯とてとよま
 りやうらとて
 一りやとてと
 一りやとてと
 一りやとてと

父 山陰三 せし付と岩戸、此行をきくも
 二十とと岩戸とつて提灯を新に
 奉徳うむむ、二日目には岩戸、
 三合を極むと兼太の行ふ天
 井石に燃やるとて行くと
 一とて送るしやう、又と連中
 樹の如様を指河行くとす、
 一とて神の意を以て安く生
 活の樂を以て物なり、此奉
 徳の生にて相とらうと被れ
 易くやとていふと、白とて
 被れとていふと、一ツのこ
 ろとていふと、あまのこ
 ろとていふと、

觀音經 西 一帖 中二十八

新刻 浄土三部妙典 道元 表紙 一帖
 刊本

表紙両面刷、天保四年原板、明治三年刊照学会刊版、表紙
中務省修了
町々下日 大初本總立より

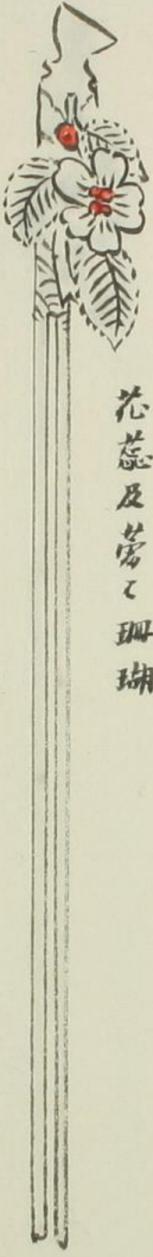
江戸火法纏卷 中一尺四寸 西面刷一枚

南北町をの段人伝、江戸方面略図、日初稿方の里程表、火法を教書
 杉浦才助所載也、延享四年二月板、安永七、文化二、文政元、政刻、
 文政七年三月校正板、出巻を要人原板、政板 吉林其公在之、右里
 海下名名有公在之、西初板を以て其文をより、其公在之、此本
 海下名名有公在之、政板 杉浦才助所載也、此山本平吉
 原之、小初板、此之、西初板、此北御之、大之、海法をより、

纏尺し深手括 一筋

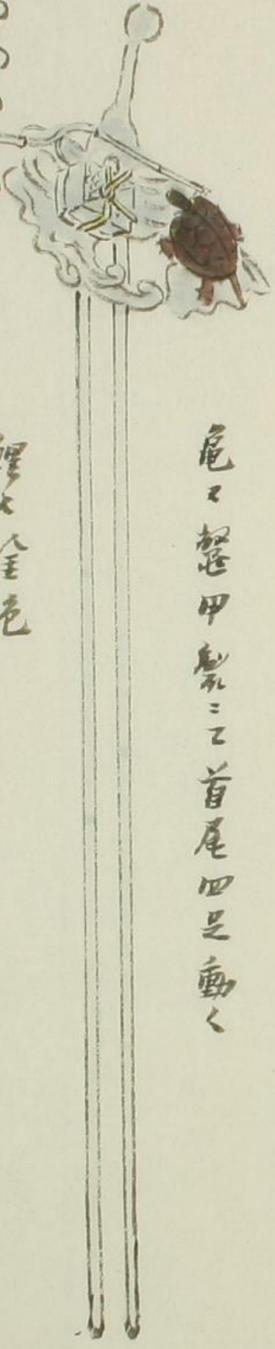
中野海法組より

江戸時代銀簪 三枚

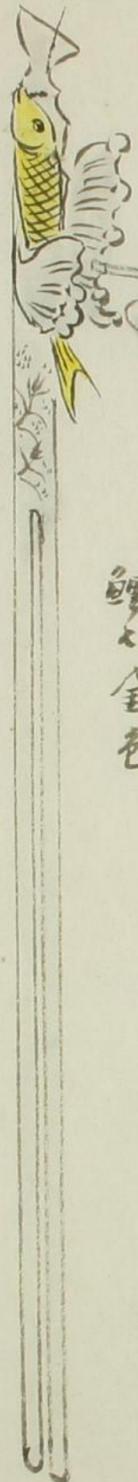


花蕊及葉と珊瑚

亀の懸甲製之、首尾四足動く



鯉々全色

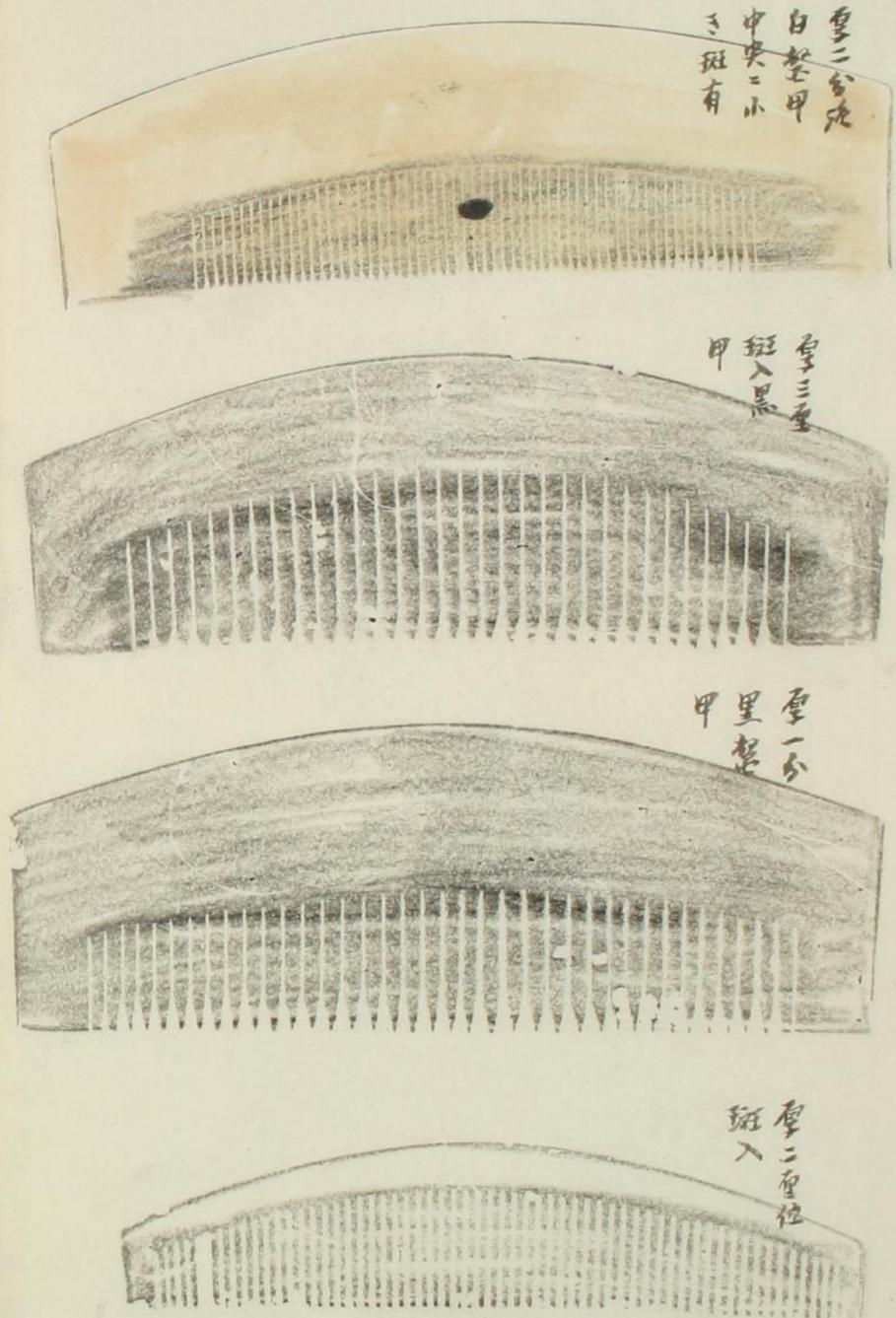


同筭 七本

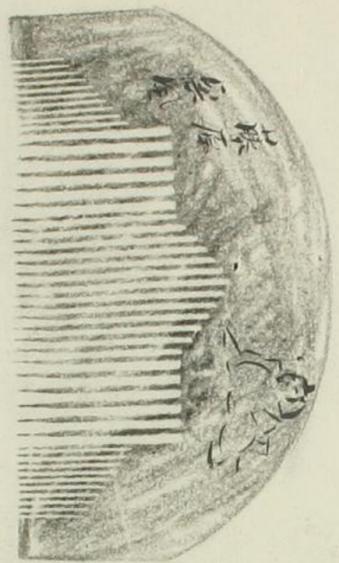
紫檀 七寸五分 一本、凡性面とる

菊姑絵金地 七寸五分 中一本、
三寸五分 二本

整甲櫓 四枚



賣揚小櫓 一枚



諸給不冠人の物 蓋平 厚二分
 表ニ壹禰うを志人せむす此れ
 とりり 伊給すうし時 贈上厚
 一ふううの筆画之内、故堂
 亦をうのう、う

賣錦子紙入 一個

壹芝和洋面葉株跡を細密に縫うせり、日房様との
 徒甲ううの被西の姑姫の白綿を半襦を其の表しとを
 工野うしと紐今仕をせり

全襦女持細葉入烟袋袋生一具

身筒の内面、右に、万、可、中、あり

瓜哇文紗紙入 前掲の如く 一个

鉄毛地味小財布 長四寸五分 中三寸五分 一个

観世混千を様紙、是を吾親の家十段に下し此衣見方打逆川走
古留士の祈堂にそのものを花の如くお江戸の新宿へ、赤下りへ、
吾親の記念の財布中へ入れ、以勝意には入り、當程言ひ女
此衣束一休の衣、是れ在候 吾親乃組上とあり、

書鎮 一个

真鍮製

古神自



四石五金蒔絵名刺盆 二枚

丈 長四寸五分 幅二寸四分 中一寸五分 三枚一組よりなり

鉄鈴 銅製 十四個

多々伊勢にて購入名刺盆二個、此を鉄鈴二個、
此二枚年首に付、此の如く、此の如く、此の如く、
不七録あり、

文趾 長巻軸形 巻五巻 一个

陶工乳鉢作左形 河巻を様し、
長七寸五分 中三寸五分



昭和五年十二月廿六日
会田富康紹介橋本信治抽三百圓



貞柳狂歌卷 長子四卷 一卷

文行在松

茶玄祥華正持紙綴多麻全銀敷全 堂檀袖茶平打紐 狂歌十九首 狂傳

三卷 六首 狂傳 一首 由綴高と罵と、つり片綴と云ふ

狂傳と云ふ 又と云ふ此世中の如く切せりて 千年をくすむ

由得糸

狂歌之卷 長子 狂坤二卷

銀襖表紙全勝外歌本紫平打紐と云ふ 全は沙押水晶軸

乾の巻奥書 右東山漁歌之巻五十首者中傳序文三全名

傳當流し秘すくは名あ言物と不可不之也 袋綴之甲

寅七月吉日 秘書其種名志書口口如後帳年丈

坤之巻奥書 右みそ松傳し秘書不物年右流流秘し

詠不許宜易所包熟吟考書可為思惟余若口換傳流

可流流赤包 秘書其種名志書口口如後帳年丈

用紙多々若流し書如引く、紙中天地全線、詠一首二行

書

一閑法 筆入 長蓋靴サキニナク



墨漆松花型

砂子蓋筆入 一個

斑竹軸唐筆四枝 徑四分軸字墨 徑天純池 鄂香桂自造 一 徑三分

羊毫 二十寸銘 宜書宜畫 一 羊毫 助大人高樂寺丹桂杖學士

真上青毫 唐抄本一、徑三分軸二分四分入 狼毫屏筆 休城胡中

一、白紙軸一枝 徑三分軸二分四分入 銀陳宿中楷純羊毫 休城胡中一、文精選

石玉蓋筆匣 一個

筆二枝 翠色角制軸筆帽徑三分長二分四分帽 銘魚日可五種

宋 御製自選上毫

筆一枝 紙不入 軸五分三分徑二分鋒

日近天顏 曹嘉如

漆竹軸羊毛筆 呈松 大中小三枝

御筆 とらふ紙管入

羊毛筆銀四軸如乞 軸及帽三角入徑三分 一枝

望顏 徑三分弱 二枝

雀頭筆 徑三分羊根毫 一枝

羊毛筆 銘管筆徑三分弱 一枝

中羊毫 徑四分筆鋒二分八分 一枝

晉唐小楷 徑三分管毫 一枝

順順羊毫 徑三分筆一寸 一枝

頂大卷筆 徑二分毫馬毛筆 一枝

李王家美細工場製筆五枝

羊毛銘筆五色 徑五分管上下紫檀ヲ裝 一老筆 羊毛徑二分五分軸八

日本 筆帽と用書 二、登岸 徑二分羊毛

朝鮮筆 二枝

赤竹筆管、羊毛の毫毛の柔々し 徑二分毫銘者魚尾器

朝鮮美御品製作所製羊毛筆 大徑毛筆管ニ此種ニ當ル錫蓋既 二枝
朝鮮筆 羊毛徑五分無錫蓋馬毛徑三分錫蓋一寸二分 四枝

昭和十一年八月... 五毛筆 紙筆入 二枝 筆鋒上五毛之毛ニ之錫蓋入り

有馬人形筆 二枝

大宮良鹿の巻筆 紙筆入 二枝

清水時山所贈、高毛筆近所贈り、三毛の毛と外側ニ巻き蓋ふ

良寛筆 羊毛此林軸管入紙筆也 二枝

天手筆 菅原深行管筆帽付正念 一枚

金剛刀 唐製、去鋤の細き三寸四分の棒の先、一、

東照文御影 一幅

外箱 桐七二寸五分印記蓋 蓋ニ東照文御影一幅東叡山今覚院帝

正書、蓋表ニ「永永年癸丑天蓋杖再存修補之現住暢海徳」

黒漆箱 印記蓋七二寸五分中三寸 歌全堂東照文御影 漢並照大所

蓋表金堂 寛永永永知造場

于時嘉永六年癸丑秋八月、陰陽極初杖了

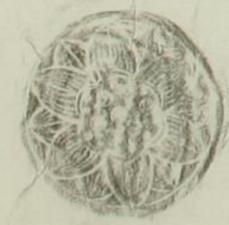
白心、物之白心、軸除き一分、軸合具鉸金

蓮華多士内瓶紐平打

表紫一見蓋全欄縁角形文括、中莖段一分、唐草池草

全欄、周途紺池草多形弁段網目丁子格子全様

御千緞地袍彩色坐像里紫朱紫等々、莖段地文と描く、七三尺。



歸令復月系

淨妙瑞瑞兒

全氏
美引

法華教人天

因中十二系

出三院既約揮頭

大僧正天海



七系中一尺三寸五分

山田房心天日朗僧正才王三之
本覺院住持とあり
上野山と中初
りし为天神 慈志とあり
山と智 仁名益次とあり
竹野

大僧正天海



電信係、以て信書埜の傳を、此物、寺の身あるを位階の秘を

知なりし、と云と井上

竹邊、名後、山水

幅を、持来、お

山房留、三百五十四と云、其の内、水牛、佐、馬、の、長を

金、中、を、奉、れ、り、し、由、り、て、伊、勢、の、諸、田、圃、を、所、家、家、を、

之類、之類、紹介し、其類、之類、あり、之類、あり、
 勿体なく、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 自ら求む、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 引と、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 上、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 が、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 ハ、之類、あり、之類、あり、之類、あり、

大筆 一枝

炭檀筆管、銀径一寸、長さ一寸、羊毫、鋒三寸、分、大正十二年、
 買取、世傳、葵田、之類、紹介し、新田、細竹、の、神物、と、おぼえ、之類、
 之類、之類、之類、之類、之類、之類、之類、之類、

書、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 二、降、車、之類、あり、之類、あり、之類、あり、

馬毛大筆 一枝

木管、径七分、長四寸五分、鋒二寸五分、此筆、
 之類、之類、之類、之類、之類、之類、

長鋒状、銀、此筆、羊毫、用筆、 一枝

筆、之類、あり、之類、あり、之類、あり、
 之類、之類、之類、之類、之類、之類、

兼、之類、あり、此、 一枝



之類、之類、之類、之類、之類、之類、
 之類、之類、之類、之類、之類、之類、

石野

草書

法印

三九

天都

田南岳璋 五岳峰 絲 西伯先師梅山 其のうらみ 見照 四條派
七華 初より 長生 抄り あり 筆 水筆 と 墨 墨 と 筆 筆 と 司 司
田山 流 の 面 面 と 本 本 と 司 司 筆 筆 と 常 常 と 司 司 墨 墨 と 司 司 筆 筆 と 地 地 田 田
峰 先生 活 活 あり

本派大城 先生 紙 紙 本 本 白 白 表 表 生 生 服 服 紗 紗 地 地 四方 四方 白 白 無 無 地 地 一 一 枚
紙 長 長 年 年 十一 十一 年 年 之首 之首 夏 夏 華 華 甲 甲 斐 斐 是 是 之 之 日 日 本 本 照 照 皇 皇 賜 賜 現 現 在 在 温 温 吉 吉 口 口

六曲小屏風 照像廿二天子 半雙 一扇巾子

思添遠縁 義下 子 子 引 引 在 在 唐 唐 紙 紙 地 地 貼 貼 夫 夫 世 世 旧 旧 と 中 中 川 川 江 江 橋 橋 舟 舟 若 若 表 表
行 行 あり あり 割 割 あり あり 之 之 玻 玻 画 画 版 版 刷 刷 あり あり と 貯 貯 あり あり たり たり あり あり 本 本 お お 仙 仙 表 表
之 之 賑 賑 之 之 政 政 修 修 刪 刪 補 補 せ せ あり あり 目 目 十 十 あり あり 圓 圓 点 点 の の あり あり 舊 舊 表 表 の の あり あり
香 香 取 取 表 表 夫 夫 あり あり 之 之 紙 紙 状 状 あり あり 幸 幸 川 川 鼠 鼠 骨 骨 あり あり 之 之 紙 紙 家 家
堤 堤 橋 橋 舟 舟 菱 菱 箔 箔 画 画 標 標 あり あり 之 之 紙 紙 葉 葉 あり あり 佐 佐 佐 佐 木 木 信 信 綱 綱 あり あり 之 之 紙 紙 小 小 脱 脱
永 永 井 井 辰 辰 辰 辰 あり あり 之 之 紙 紙 形 形 紙 紙 状 状 あり あり 松 松 圓 圓 環 環 翠 翠 大 大 小 小 鈴 鈴 小 小 景 景 あり あり
小 小 北 北 洞 洞 山 山 羊 羊 吹 吹 状 状 あり あり 之 之 紙 紙 状 状 あり あり 山 山 中 中 共 共 石 石 和 和 款 款 小 小 短 短 冊 冊 初 初 空 空
浅 浅 田 田 派 派 橋 橋 舟 舟 紙 紙 状 状 短 短 冊 冊 あり あり 由 由 田 田 勇 勇 庵 庵 白 白 紙 紙 あり あり
大 大 沼 沼 枕 枕 山 山 手 手 紙 紙 あり あり 川 川 在 在 田 田 久 久 吉 吉 夫 夫 錦 錦 勺 勺 短 短 冊 冊 あり あり
北 北 高 高 菊 菊 在 在 石 石 刷 刷 給 給 草 草 地 地 あり あり 高 高 母 母 斑 斑 山 山 手 手 紙 紙 紅 紅 紙 紙 表 表 あり あり
活 活 人 人 印 印 鑑 鑑 六 六 名 名 周 周 十 十 福 福 分 分 圓 圓 山 山 鳥 鳥 蔭 蔭 和 和 款 款 短 短 冊 冊 白 白 紙 紙 地 地 あり あり 八 八 万 万 金 金 あり あり

竹溪詩集 樹下小公

福臣法彩山水

巖石一六手紙 歷年卷不

五仙平溪四圍半全確收即付四圍全

以充風文舍費請為高是是禱

五仙長纏天賜風文一尋確是痕

噫 於古之再拜 七月廿日

錦山先生詩詞

竹溪和款短冊 (三給字) 塘邊刀水和款小版

些論野寬年與畫書 有詩 昭和四年

此人蓄散字契厨 五十七年疎世道揭自玄秋聖蹟在

元朝程對菊花園 之此一不寬

覺

水雪殿告陸 紅卷紙

紅楓葉三枝

右門外紅葉玉少也

神道寺街

石十月

吉直



古人所管漆書高似苑生自蔡
倫諸家造紙而後字書者其迹
重為可朽紙紙多為下明鑿者
次之粉初者尤次之他如耿絹

之在文字可聞書家流瑞贈務茲以素紙中剔選最善者
千種凝練潔白世瑕名曰冰雪牋以供於諸家雅愛 於
香之人洗口口

切手經卷第四 長卷紙 本地橙軸 一卷 昭和二十五年十月七日 仙文莊佛 一百四

光明皇后經卷 二行 天平十二年五月一日記

十五枚一枚廿寸五分中一尺五寸 每紙廿五行 一行十七字 廿字 偶七 廿

田推田君以社之

隅寺心经 七字五分 一枚

安田推田君贈

後不吉奉納の理証分と此字を以て社之

鼠心经 七字五分 一枚

同上千四

万任檢、吉公以の書法より、

招佛思以の天一紙六枚

一枚 中五分五分 又紙重枚

嘉：應保二年 三月七日 鬼宿日曜 佛養 千祈内卜書書 安田君贈

應保二年 嘉保二年 二月十五日 皇の昭令より七百四十五年

明月記 一七字五分 中一七字五分 二枚 弘文莊三枚 弘文百四

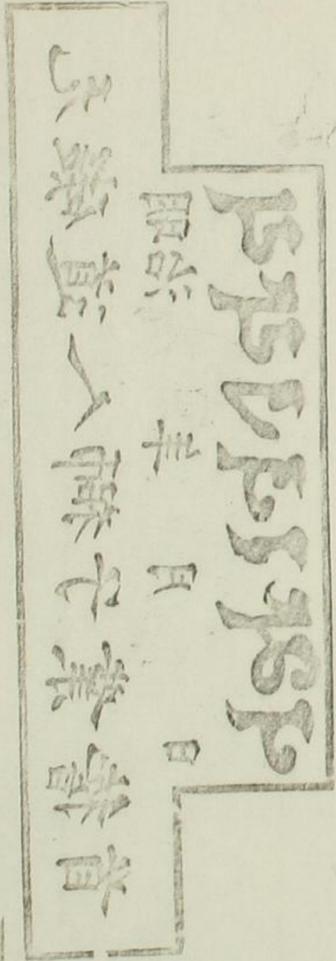
同上 中一七字五分 一枚

以上三枚 在法中 芳村五誠書を以て

同上 切 一八一分 中三分分 七行一枚

大念三之刀水出出所と居所

今泉也軒分千祈九板木 一枚



昭和四年七月五日 田君之贈

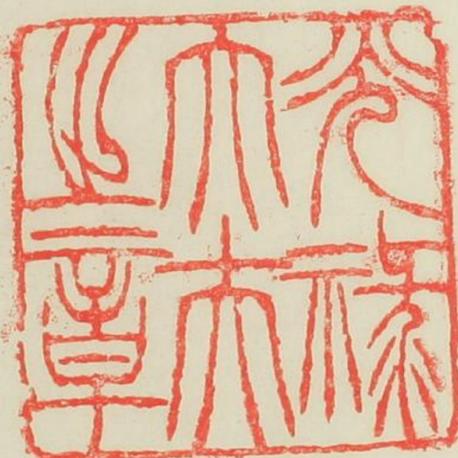
堂石研 一面

在法中 某所とあるに 良規と稱して 持たし、以難く規とるに 傍り仰て 正と稱し、し、る、併此と久留とを 亦試す、口也



如多うけりて求りて硯面  如此周造重しりて師と断れり大之刻
 能事終昭く此より   之鏡と名向、銘亦不了後旧と

蓋と世よりしりて功立後古尾瑞芝有之、堂標と云は下之
 硯石取面亦ありし、此硯浦和、據りしと銘と、蓋と不五、
 蓋取石印 柱銘三 天竺鈕 錦子 硯石 二枚



大湊 送阿字一帖在屏後 西村和協 阿字良小 玉方 覆更く古引首取
移更古著片 乃今又見、浦和、蓋と平三島、倉庫 着 一蓋末ニ強引手、

蝦夷厚子表知 申四尺四寸二尺七寸 一枚

蝦夷文振と一面と錦とアリと楡の一種アリアリとの甘皮と割と晒
しと織しあごとの紺木綿と以て文振とらるる白き多き錦
しとの友人多く不潔なり和人の道地氏との事其の外正なり 或は
多行此よりし人なり、金を主使所用と云場所銀多なり云々なり一七五
下ニヤ
知る此不潔なり人々は金銀を世に有るを其の一人多き故
一ツの事其名の代りたる物ありといふ事根津草津温泉に積り
より後不潔なる学前に錦ととし失財を九段に積り紅梅錦と飾
と着る事と多かりて王家よりお給ひ奉りし衣とありと云々なり
有り方と云々なり木綿といふ事其知と一尺持つと云々なり云々なり
時不潔なる事多しクナると錦木綿一尺零と云々なり云々なり

建長八年 十月庚元 文書

一通 長一尺八分
中一尺一寸八

文行抄

物

岩四羽麻御内菅原新田拾介者去建久八年故一条二姓の邊
取御時被穿を感神儀新田年仍以破地利備法寺云 天長地久
御殿之進收佳例ある御代以菅原近邊荒地并堀内起房田不向中
被穿を被神田之由菅原新田取主法眼晴并依了請之所被成下
御廳宣色早任所廳宣可令施行之状依圖宣執達如件
建長八年三月廿日 左大臣村知書

證收圖在廳官人御中

建治二年 二百四十年前 文書

一通 長一尺一寸
中一尺一寸五分

文行抄

以此状より領宣之由依御所知の件

世

德治二年十一月十日

謹啓

陸奥守 相程弓 殿

丹後國加佐郡余戸里内勝浦村内田畠石數奉

田為所屋敷山等ノ邊別紙ノ在之

右件田畠石數等ノ御前ノ不豫也但錢貳貫陸佰貳拾五文並銀

方ノ并外者万難奉 爲之仍 謹狀ノ件

德治二年六月五日

少平 遠平 物

應安四年

南朝 延元天皇 建治二年 奉 文書

文書

一通

右ノ字 中ノ字

文行 抄

醍醐水奉法卡隆傳ノ 犬懸坊領地歳回粟本寺ノ事宜有テ以

法ノ狀依所 執達ノ件

應安四年二月廿七日

孫藏守 鳥

細川 抄之

上掲鳥部少輔入左次

文行 抄

寶徳元年

四百九 十等ノ 文書

右ノ字 瑞正 中ノ字 瑞正 一通

奉寄附 田地之事

印二重 朱文墨袋 心圓

合陸殿者

久我以領成次名内也 拜付別紙見

右田地者任 御遺命ノ旨奉 寄附瑞正禪院者也但彼田地

以今年秋納奉分可被管備年 忌之齋會更不可有他妨仍為

後日龜鑑寄附之狀如件

寶徳元年巳十二月廿五日

瑞正 印

文祿五年

十一月 文書

右ノ字 瑞正 中ノ字 瑞正 一通

永比登河ノ石野ノ事

事所若岩洞ノ事



世八

印白文 許有 清通

面ハ三ツ人一ノ中、無クシテ一ノ中

石ノ片ヲ限ヨリ、古ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

金子武為ニ奉旨シ

右此ハ石ノ片ニテ、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

件、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

文禄五年六月三日

岩瀬屋敷内

後、其ノ片ヲ限

卯月虎印 印文様 文書 中一尺四寸三

整制

右軍器甲乙ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

族ノ之ニテ、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限



本光國師消息 中一尺四寸三

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

唯今以書状、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

以傳入、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

唯今以書状、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

以傳入、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

唯今以書状、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限、其ノ片ヲ限

早稲子と信禮堂

二月 七日

上田社成和歌小式紙幅 初巻一帖 文行帖

一文堂白紙牡丹唐紙全欄 割風帯天地至菊牡丹唐 草綴子

中廻相唐草女持孫全欄 牙^{ハシ}軸^{ハシ}平打絹前巻全具腫^{ハシ}表

巻末和仙巻全巻 田子^{ハシ}三杉^{ハシ}軸巻此^{ハシ}其^{ハシ}牙^{ハシ}工巻人作^{ハシ}方^{ハシ}

凡の^{ハシ}の^{ハシ}子^{ハシ}ま^{ハシ}出^{ハシ}に^{ハシ}重^{ハシ}あ^{ハシ}し^{ハシ}ま^{ハシ}の^{ハシ}め^{ハシ}き^{ハシ}由^{ハシ}人^{ハシ}さ^{ハシ}う^{ハシ}う^{ハシ}と^{ハシ}海^{ハシ}秋^{ハシ}の^{ハシ}紙^{ハシ}中^{ハシ}

中^{ハシ}二^{ハシ}紙^{ハシ}後^{ハシ}取^{ハシ}桂^{ハシ}流^{ハシ}石^{ハシ}田^{ハシ}和^{ハシ}信^{ハシ}三^{ハシ}方^{ハシ} 其^{ハシ}一^{ハシ}人^{ハシ}子^{ハシ} 全^{ハシ}体^{ハシ}方^{ハシ}と^{ハシ}花^{ハシ}巻^{ハシ}子^{ハシ}

の^{ハシ}こ^{ハシ}に^{ハシ}仙^{ハシ}巻^{ハシ}子^{ハシ}表^{ハシ}を^{ハシ}拘^{ハシ}し^{ハシ}文^{ハシ}振^{ハシ}軸^{ハシ}紐^{ハシ}瓦^{ハシ}巻^{ハシ}似^{ハシ}合^{ハシ}し^{ハシ}と^{ハシ}ふ^{ハシ}に^{ハシ}

柳鈕鈿印 高^{ハシ}二^{ハシ}寸 老^{ハシ}十^{ハシ}五^{ハシ}分 一^{ハシ}顆



銀^{ハシ}の^{ハシ}ま^{ハシ}を^{ハシ}信^{ハシ}士^{ハシ}段^{ハシ}進^{ハシ}

桂^{ハシ}、^{ハシ}信^{ハシ}人^{ハシ}性^{ハシ}謙^{ハシ}、^{ハシ}ち^{ハシ}り^{ハシ}元^{ハシ}

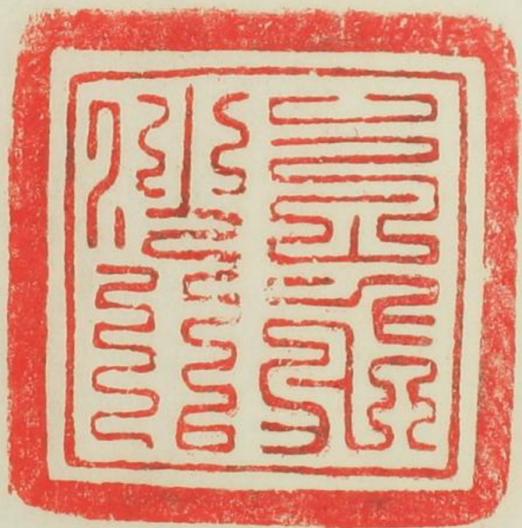
印^{ハシ}と^{ハシ}し^{ハシ}字^{ハシ}尾^{ハシ}を^{ハシ}と^{ハシ}成^{ハシ}し

寛永鉄面鈿印 一^{ハシ}顆

高^{ハシ}帽^{ハシ}子^{ハシ}の^{ハシ}め^{ハシ}き^{ハシ}印^{ハシ}

鈕^{ハシ}の^{ハシ}め^{ハシ}き^{ハシ}目^{ハシ}や^{ハシ}し^{ハシ}

の^{ハシ}め^{ハシ}



韓四騎印銅印

一種



丁鈕印字五字是百十九元法造口水抄平
鮮花山名所出時莊詳古印本七編表下
近世印字都下所出、官印、鈔票等物
よく似てはく、し、し、し、し、し、此印と世に交へ
不辨なり

桐里漆目澤塗組蓋 大寸五分 小寸五分 四枚

縁未塗より五枚組ありしもの

仙毫埋木製 長寸五分 中一寸五分 一枚

仙毫末了竹炭井戸仙毫製相沢葉印を多見照

権因君遺品賜下げ 相入 一具

安田権因君烟草のりまらぬ烟草を拵へて賜提之條に印結

と前鏡



加納夏雄依銀製分銅表を交雄券と片



切取より分銅の安田初代和而西勢なるもの記號を
行上と名を標識とす夏雄の記、その本と云ふものと
よく似てはく、し、し、し、し、し、此印と世に交へ
不辨なり
客定と記を著座及越目全赤銅分、紐穴全を肥銀、紐水
色、結締古版珊瑚五分玉、筒、長年筆、李陽口全金、安田一氏見
照、箱の中工夫して合田客席を囀ると進ませ

無解高手言 箱入 二帖 弘文社紙六千四

去冬新、自力に考へし自許として、全製と信して考へし安田
王より成心

玄田草燉手方 一帖 弘文在掛 一万四

口上

腰提什袋 一個

七寸 縞荒織木綿袋 長三寸五分 中四寸五分 茶組紐九寸 椎圓常用のもを

ふむ時とふくく 琥珀 長三寸五分 根竹 菅楊刀 巨形 長三寸五分 中五分 共五寸とふくく

口 中五分五分 一個

荒織地 破綿 中五分五分 袋身 出末合と 四寸五分 袋身 長三寸五分

茶組紐 根竹 壺筆入 長三寸五分 中五分 推圓 長三寸五分 根竹 長三寸五分

五推丸 取易くくく、袋身 此五分五分 五山 四寸五分 刻五分五分

尚西忘東尚東忘西

茶子散 様孫全襟 信玄袋 一個

長三寸五分 紅組房付 中三寸五分

テニキ 提籃 長四寸五分 中一寸五分 一個

口 古更紗 上付 紐女打紐、テニキ 七段 表地 長三寸五分 編り 上付

琴女 遠西 長三寸五分 長三寸五分 小形 長三寸五分 珍重

白磁 莊辰 珠粒 珠 長三寸五分 一連

珠 長三寸五分 佛 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分 古山 長三寸五分 講釈 何年

長三寸五分 伯 長三寸五分 長三寸五分

皮付 産符 瓢 一個

長五寸 徑二寸 公津田 端 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分

桂 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分 長三寸五分

烏丸光彦在番懐紙 一枚

後三山田の世書等よりいふこと表紙にせり

中一尺四寸五分七厘一分 寸五分八厘は青紙と布紙とみいれをいふこと
しる あれちりともいふ事と云ふこと云々なり

様の大石行列墨刑繪 一枚

中一尺三寸五分七厘一分 四寸五分五分のちいへり事と云ふこと云々なり
しる こといふ事と云ふこと云々なり 角内 八寸四分五分五分のちいへり事
なりたをいふ事と云ふこと云々なり 久助又助と云ふこと云々なり
なり 少林金と云ふこと云々なり 久助又助と云ふこと云々なり
しる こといふ事と云ふこと云々なり

擴大鏡 一個 一尺八寸角
右寸五分

所謂ギヤシン日おきられし 柳邊替きれを推因名是院

朝鮮尺 一本

長一尺七寸一分、尾寸五分、紐五寸、紐を西と青紅を移りたる事と云ふ
賜りし事と云ふこと云々なり 候可なり、不知、秘正念候と云ふこと云々なり
是衛と云ふ事と云ふこと云々なり 是の事と云ふこと云々なり

木如意 一本

七一尺三寸五分中一寸五分、柄を合手送り、表に三浦六郎支願、亦箕川
跡、日常足口と金字にて書あり、ナカ色可掬

新如意 一本

七一尺二寸五分、柄を合手送り、 岐守華山作、其五寸五分、柄を合手送り、

七寸五分、柄を合手送り、其五寸五分、柄を合手送り、其五寸五分、柄を合手送り、
ナカ色可掬、其五寸五分、柄を合手送り、其五寸五分、柄を合手送り、其五寸五分、柄を合手送り、

三唐、房、名、意、初、之、以、知、祖、未、之、晴、不、男、山、大、家、自、休、也、
聯、之、不、未

拓餘殘芳編卷三



Handwritten Chinese characters in cursive script, including the name "李承恩" (Li Cheng'en) and other illegible characters.



Additional handwritten Chinese characters and a red seal impression on the lower portion of the document.